校長室だより

「ハッピー通信」54号

令和5年3月27日

HPです

「教室にホンモノ届けます」③

今帰仁村の特色ある教育活動のひとつが「地域教育資源を活用したキャリア教育」です。今年度は、地域連携コーディネーターの上間哲朗さんがたくさんの学習をコーディネートしてくれました。次年度もたくさんの「ホンモノ」を教室に届けますよ～！ お楽しみに。

3年生は自転車で地域めぐりをしました。

5年生は世界のウチナンチュ大会をきっかけに海外移民の歴史について学びました。

「昔の道具調べ学習」が発展して、ホンモノのかまどや昔の道具を使ってジューシー作りに挑戦した3年生。その様子が新聞に掲載されました。

3／26琉球新報

古道具でジューシー作り挑戦 今帰仁

【今帰仁】今帰仁小学校と兼次小学校の３年生約70人の児童は、社会の授業で昔の道具調べ学習に取り組んだ。同村歴史文化センターでこのほど実際の道具を見て、「昭和にタイムスリップし、古道具を使って料理を作ってみよう」と大鍋でジューシーとアーサ汁を作ってみた。希少な昭和当時のカマドなどが残る古道具を使い、今でも生活する村内古民家の協力で行われた。

児童ら昔の生活体感「楽しい」

薪班は斧で薪を割り、できたてジューシーを月桃の葉に乗せてお皿にしようと、古民家の裏手で集め、それぞれ各班ごとに分かれて分担作業した。

大鍋には具材を入れ、大きな木のしゃもじで具材を混ぜ合わせ、バナナの葉でふたをし、最後にススキや茅などで作られ、煮炊きする時にかぶせるカマンタ（フタ）をかぶせて炊き上がりを待った。周囲には、煙が立ち込め、おいしそうな匂いに児童は興味津々の様子で見守り、その後ふたを開けると、大歓声が上がった。

月桃の葉に乗せたアツアツのジューシーに「うまい」「甘味がある」などと児童は笑顔で昔ながらの体験を楽しんだ。兼次小３年生の仲里心舞さんは「薪を割って、うちわなどで火を大きくした。煙で目が痛かったけど、楽しく、昔の生活の様子が実際に学べてとても良い経験になった」と笑顔でコメントした。（新城孝博通信員）

珍しいカマンタのフタで蒸す釜に息をかけ火力調整する児童＝7日、今帰仁村内古民家

月桃の葉のお皿に盛られたジューシー